

町報

No.260

こうふ

1992

11月

# 完成せまる大交通網

12月18日、中国横断自動車道開通

# 晴れやかに町制40周年を祝う



十月二十七日、町民総合体育館で、江府町発足四十周年記念式典が、盛大に開催されました。

始めに、町の様々な分野において功績のあった方々、団体に表彰状並びに記念品が授与されたあと、福田町長が挨拶。

「多くの先輩各位のご努力によって築き上げられた江府町の歴史とその功績に対して深く敬意を表すると共に、町民と共に歩む対話と協調の基本理念をふまえ、今後とも努力をおしまずに取り組んで参ります。」と。

相澤衆議院議員、西尾県知事をはじめ、町内外から約四百人の方々をお招きし、四十周年をこしほ寿ぐことができました。

## 希望と活力にみちた 健康福祉の町づくりを

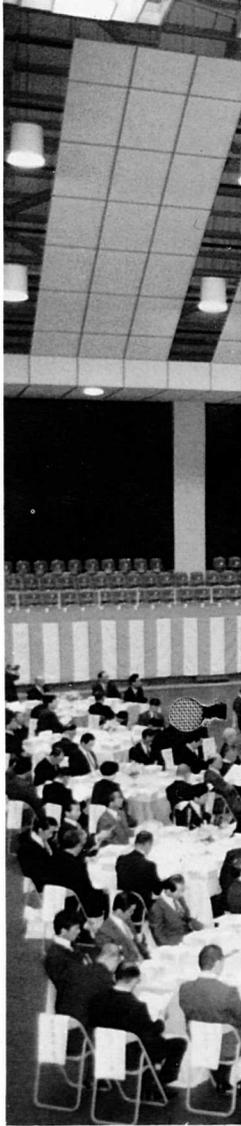
### 福田町長・式典挨拶より

菊薫るきょうのよき日、西尾県知事様、国会議員の諸先生をはじめ、町内外から多くの関係

びに耐えませぬ。厚くお礼申し上げます。

各位の皆様のご臨席を賜り、ここに江府町発足四十周年の記念式典を盛大に挙行することができましたことは、町民挙げて喜

昭和二十八年六月一日、町村合併により江府町として発足いたしました以来、ここに四十周年を迎えました。その間、多くの先輩各位の創意とためみない



ご努力、英知によって築き上げられた江府町の歴史とその偉業を振り返ってみます時に、実に感慨無量なるものがあります。

先ほどは、町内各機関の推薦により、町条例に基づく表彰審議会の議を経て、多年のご功績と永い間ご努力を賜りました個人、団体の皆様に対し顕彰の敬意を表しました。

爽快これに過ぎるものはありません。町民を代表いたし、表彰者の皆様に謹んで心から敬意と感謝を申し上げます。

## 国道昇格・横断道・下蚊屋ダム 永年の夢が実現、四重奏のよろこび

四十年來、この豊かな自然と人を大切にする町是は、脈々としてはぐくまれて参りました本町の伝統と歴史であり、さらに発展充実にさせるべく、人づくりを町政の中心にすえ、二十一世紀に向けて「希望と活力に満ちた魅力ある町づくり」を念願いたしております。

今、国内はもちろん、地球規模で「人と環境」の共存共栄の構図が緊急且つ重大な課題であります中で、本町は南大江山麓一帯に広がる神秘的な山岳美と広大な原野美が織り成す牧歌的な恵まれた大自然の宝庫であり、いま一番貴重な、青い空と輝く太陽、水と緑、すみきった空気が素朴で温かい人の心は、本町にとり何よりもかけがえのない宝であります。



特に本年四十周年の記念すべき歴史の一ページに大きく花を飾ることのできます事は、岡山県に隣接する山陰の玄関口、江府町にとりましても待望久しい陰陽を結ぶ中国横断自動車道江府落合間の年内開通であります。来たる十一月二十二日には、県内外から三千人をこす皆様を

江府町にお迎えし、宮市を起点に日本一規模を誇る逆ランガーアーチ橋の俣野川橋を経て、蒜山高原インターに至る開通記念メモリアルウォーキングも実現の運びとなり、いよいよ山陰ハイウェイ時代の本格的な幕開けを迎えることになりました。

次に大江山麓市町村、三千三百農家の皆様が二十年來の悲願であり、農林省、県ご当局をはじめ西部地元関係者皆様に永い間ご心配と大変ご迷惑をおかけしておりました、国営下蚊屋農用ダムにつきまして、私も、水源町としての経過をふまえ、大きな政策課題として、取り組んで参りましたものの、本年に入り、遅れ馳せながら、残りわずか地権者同意のご理解を賜り、先に円満のうちに調印が完了いたしました。

本日の佳節に併せて待望久しいご報告ができますことは地元町長として感激の極みであります。今後、願わくば、高原ダムと

しての特性を生かし、地域と観光農業の拠点として将来にわたる地域住民の活性化につながるための周辺整備につきましても、水源町に対する、この上共に国、県ご当局のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

又、本年は国道計画見直しの年に当たり、全国的に国道昇格要望の極めて多い中にあたりまして、主要地方道江府中和用瀬線の国道四八二号として昇格をいただき、関連道路網、橋梁改良等整備にむけ、永年の夢と願いがここに実現いたしました。

本町にとりまして、念願の大きな課題解決が一挙に四十周年記念の年と重なり、まさに四重奏の慶びに浸っております。

更に、県指定のやさしい町づくりとじげの川モデル河川整備事業、じげおこし交付金事業の継続、特に農林水産業の農業農村活性化にむけての二十一世紀型モデルほ場整備、中山間、農免道、農構事業等の大型新規助成事業が本年度採択を賜り、今、継続事業と合せ、全町にわたり生産生活環境条件の整備をはじめ、文教施設、観光施設、特に自治省の地域福祉推進特別対策事業の認定と厚生省助成によります、

老人福祉関連全施設の新設等々本町が活性化ビジョンであります「自然が詩う奥大山チロルの里づくり」の構想と実態が着々と水面下に姿が現れて参りました。

これひとえに、国・県ご当局関係皆様の格別なご指導と限りないご支援はもとよりでありますが、こよなくふるさと江府を受する町民各位のご理解と常に提唱しております町民と共に歩む、対話と協調の基本理念のもとに積極的な町政参加ご協力の賜物であり、この機会に心から感謝とお礼を申し上げます。

願わくば、本日の記念式典を契機に、決意を新たに、全町民共々、手を取り合い、力を合せ、「新しい文化の香り高い、安全で快適な健康福祉の町、みんなが住みたくなる町づくり」に向け、「希望、安心、連帯」の合言葉を一段と高らかに合唱し、若き世代に引き続ける普段の努力をここに誓い合いたいと思っております。

本日ご臨席の皆様は、重ねてここから敬意と感謝のまこと捧げ、旧に倍してのご理解、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。全町民あげてお願い申し上げます。式辞といたします。

# 福祉ゾーンに

## 特別養護老人ホーム

### デイサービスセンターが着工

社会福祉法人  
＝ 寿 耕 会 ＝

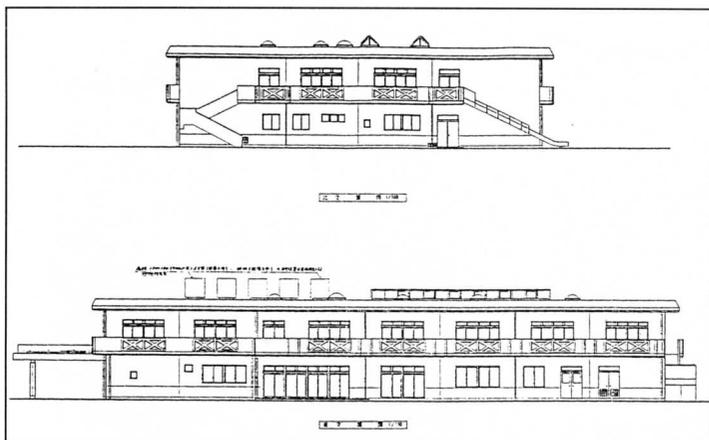


(起工式で挨拶する寿耕会の藤田理事長)

十一月二日、現在建設中の老人福祉センターの隣接地に特別養護老人ホーム・シヨートステイ・デイサービスセンター・介護支援センターが着工いたしました。

これは、社会福祉法人寿耕会(藤田耕三理事長)が事業主体で、鉄筋コンクリート二階建、建物面積(延二、三二二・五九㎡)、工事施工には(株)松村組広島支店が携り、明年の完成を目指し、現在着々と工事が進められています。

健康福祉の町を目指す本町にとって福祉の一大拠点が明年には完成し、住民福祉の一層の充実が図られることとなります。



(特別養護老人ホーム等の完成・立面図)

# チロルの里特産品づくりに 夢ひろがる

(5) 十月二十九日、本年度自治宝くじの助成金による一般コミュニティ助成事業で整備された木

工用機械の糸のこによる講習会が佐川の木工加工所において開催されました。



(熱心に木工機械に取り組む皆さん)



(講師の説明に聞きいる皆さん)

この日の講師には日野町から榎木先生をお迎えし、木のおもちゃと組木パズルなど製作しました。「木の香りがたちこめる中での作業はとても楽しいです。」と出席した十三人の生徒は意欲満々に講師先生に次々と質問をしていました。

また、同じく宝くじ助成金地域福祉推進助成事業) によって整備されました工芸品用機械により、現在木工ロクロ教室も開講し、茶たぐ、菓子器などの製作に取り組んでいます。

いずれも「将来チロルの里の特産品にできれば」と参加者の夢はふくらんでいます。

## 川上 貢さん、県知事賞に輝く — 優秀生産農林水産業者として —

11月7日、第31回鳥取県農林水産業祭が鳥取市の布勢総合運動公園で開催され、御机の川上貢さんが、永年林業に尽力されたことが認められ、このたび県知事賞を受賞することになりました。

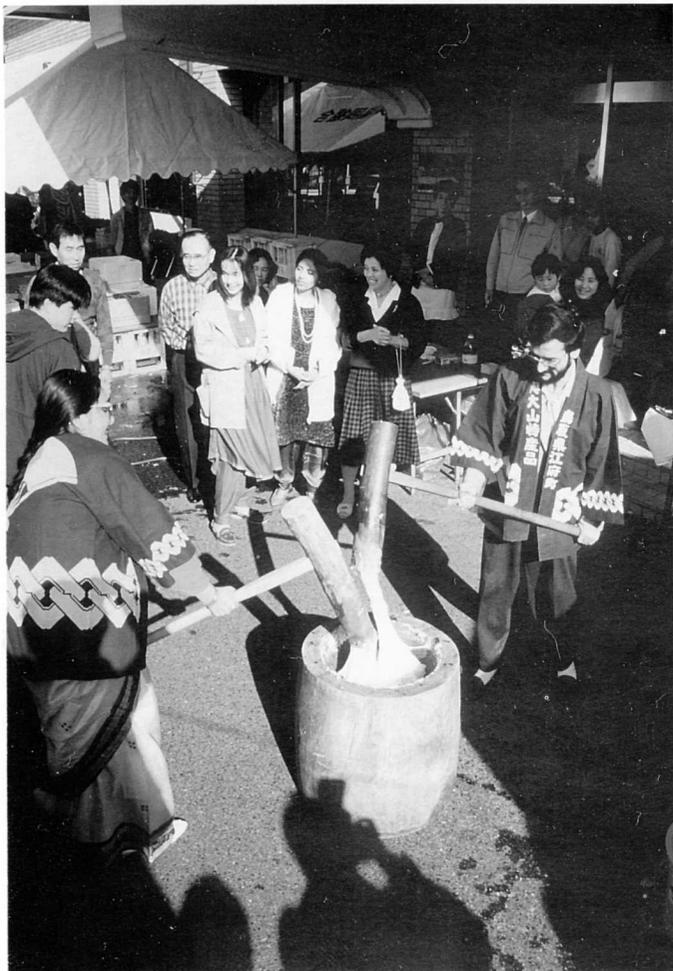


(県知事賞を受ける川上貢さん)



(宮市地区横断道の側面に、チロルの里のイラスト完成)

## できましたチロルの里イラスト



(農協まつりでもちをつくインド青年たち)

## インド青年5人 江府町に短期ホームステイ

10月30日から11月1日まで、インド青年5人が江府町に民泊いたしました。

これは、鳥取県青少年女性課の依頼で「21世紀のための友情計画」事業にもとづいて行なわれました。

インド青年5人は、全員学校の先生。日本での初めての民泊の印象として、「食べ物は少し甘かったけど、とてもいい人ばかりで楽しかった」男性の声。「文化・習慣が違うけど、私にとって新しい家族ができたようで本当にうれしかった」女性の声。

数々の思い出をつくった小さな国際交流が、一人ひとりに大きな友情の輪をつくりました。

## 西ノ島町と経済交流会総会が開催



西ノ島町との経済交流会総会が十月二十三日に西ノ島町商工会館で開催されました。その総会には、両町関係者十五人が参加。事業計画・予算については、審議され、平成四年度には両町それぞれの経済視察団を派遣することや今後一層、町民ぐるみの交流を目指すことが確認されました。なお、本総会で福田正臣江府町長が会長に選任されました。



(総会で挨拶をする福田町長)



# あなたのやさしさを

NHK海外たすけあいキャンペーン

十二月一日～二十五日までNHK海外たすけあいキャンペーンが実施されます。

世界の各地では今だに紛争等により多くの人々が苦しんでいます。

このキャンペーンの目的は援助を必要としている人々に物資や資金を届け、医者、看護婦を派遣して自立への道を手助けするものです。

義援金の受付の次のところに願います。

郵便局、銀行、農協、NHK各放送局など。

## 戦後強制抑留者の皆様へ

# 請求はお済みですか

戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国の地域に強制抑留された方、またはそのご遺族に内閣総理大臣の慰労品（書状、銀杯）を贈呈しております。

そのうち、年金恩給や公務員の共済年金などを受給されていない方には、併せて慰労金十万円が支給されます。

請求期限は平成五年三月三十一日までになっていますので、

一日までになっていますので、

請求とお問合せ先

東京都文京区大塚五―三―十三  
平和記念事業特別基金  
業務第二課

☎03-3945-4704

なお、請求書類は江府町役場・民生課にあります。

## 恩給欠格者の皆様へ

平和祈念事業特別基金(総理府所管の認可法人)では、いわゆる恩給欠格者の方で、外地等に勤務した経験を有し、加算年を含めた在職年が3年以上で、請求時において日本国籍を有する方には内閣総理大臣名の書状を、さらに70歳以上の方には高齢者の順に併せて銀杯を贈呈しております。

(注) 次の方は、この事業の対象になりません。

- 年金たる恩給または旧軍人軍属としての在職に関連する年金たる給付を受ける権利を有する方。
- 恩給欠格者のご遺族および戦後、旧ソ連邦またはモンゴル国の地域に強制抑留されたことのある方。
- 戦傷病者戦没者遺族等援護法上の軍属（雇員、傭人、工員等）および準軍属の方。

【請求書類の送付先・お問い合わせ先】

〒112 東京都文京区大塚5―3―13

平和祈念事業特別基金 業務第1課 ☎03-3945-4704

なお、請求書類は、江府町役場・民生課にあります。

## 国民年金

### 国民年金保険料は納めましたか。

国民年金は働く世代の方々が老齢世代を支える「世代と世代の助け合い」から成り立っています。

毎月納める保険料は自身自身の年金を保障するだけでなく、今のお年寄りの年金も保障して

います。

年金制度を支える大切な役目を持つ保険料は毎月きちんと納めましょう。

## 給与の源泉所得税の

### 納期を忘れずに

給与・賞与に係る源泉所得税は次のとおりです。

#### 【毎月納付の方】

給与等の支給日の翌月十日

#### 【納期特例の方】

一月～六月までに支給された給与等 七月十日

七月～十二月までに支給された給与等 翌年一月十日

滞税が加算されます。

## 第44回人権週間

(12月4日から10日)

第四十四回を迎える人権週間は昭和二十三年十二月十日に世界人権宣言が採択されたのを記念して「人権デー」が定められ「人権デー」を最終日とする一週間を人権週間と定めたものです。

本年の啓発事項は

○国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう

○学校、家庭周辺から「いじめ、体罰を絶とう」

○正しい知識をもって「部落差別をなくそう」

○「女性の地位を高めよう」

○「障害者の完全参加と平等を実現しよう」

この週間を通じて、人権の大切さ、お互いの立場を理解する心を育てましょう。

ただし、納期特例の方の七月から十二月分については、納期の延長申請がされておれば、納期事項に該当しない場合は翌年の一月二十日(納期)になります。平成四年十二月分及び納期特例の方の七月～十二月分の納期は平成五年一月十一日です。納期が遅れますと加算税や延滞税が加算されます。

# 人の動き

## 10月届け

### お誕生

#### おめでとう

佐川 下村 彩乃（彩乃の） 敏彦 長女

御机 川上 凱（凱が） 勇一 二男

小江尾 長尾 優衣（優衣） 全計 二女

### ご結婚を 祝します

石崎 康弘 境港市  
松原 由美 吉原から

佐藤 雅人 大阪府豊中市  
板井 裕子 美用から

崎内 和孝 広島市  
新見 比呂美 吉原から

濱田 恒治 岩美郡岩美町  
加藤 千鶴 武庫から

下垣 吉正 美用  
木山 孝子 日南町から

頭本 保人 日野町  
日野尾文衣 武庫から

河本 昌弘 俣野  
岸本 恵子 兵庫県美方郡から

柳原 信行 兵庫県明石市  
川上 純 美用から

### ごめい福を 祈ります

本三 山口 ぜん 84歳  
健次郎宅

宮市 景山 恵美子 74歳  
學宅

日ノ詰 山中 正義 79歳  
藤枝宅

吉原 砂口 鶴壽 89歳  
杉谷 加藤 ともよ 93歳  
一正宅

佐川 住田 初由 81歳  
弘視宅

## ひとつこと ふたこと

### エイズについて 考えよう

エイズという病名を数多く聞くようになりました。

日本で始めて昭和六十年に神戸市で発見されて以来七年。急速な勢いで増加している感染者の数をみると他人事ではますますれないように考えてしまいます。

ところが、昭和六十年から大々的に報道され出したエイズもそれ以前にエイズウイルスに感染していた事に大変驚きました。

それは、血友病患者の方が外国から輸入血液を受けたために感染してしまったという事実があるからです。

輸入血液製剤を加熱処理することによってエイズウイルスを処置する法律ができたのはエイズが発覚した昭和六十年の八月のことです。血友病患者の方は

全国的に約二千人おられ、その三割は中学生以下だそうです。だから、小学生、中学生でも感染している人もいます。

あまりにも、残酷な話に胸を締めつけられる思いがします。

エイズは通常の生活を営む上では決して感染するものではありません。

例えば、感染者と鍋物を一緒に食べたり、くしゃみで唾液がかかったり、握手をしても、絶対に感染することはありません。

むしろ、恐ろしいのは感染者に対して誤った認識をもって、知らず知らずの内に差別してしまふことや、感染しているかどうか検査も受けずに自分は大丈夫と過信している事ではないでしょうか。

世界的な統計では毎日、五千人が感染している状況。今世紀末には四千万人になるという現状から思うことは私たちの身近かでも起こらないとは限らないと思います。

今、思うことはエイズに対する正しい認識を持ち、そして自分自身が検査を受けることだと思えます。自分のためばかりでなく、人のためにも大切なことだと思えます。

### 編集後記

町内で自動車道がよく見える所は宮市地内です。

しかも、小高い山に上がれば、なおさらのこと。天気の良い日を狙って、写真撮影のため山に登ることを決意。

子供のころには近くまでよく行っていたので、道を知っているつもりでしたが、これが大きな間違いでした。

昔あったはずの田んぼも荒れ果てて、見るかげもなく、道なき道を藪をかきわけ、かきわけ途中、普段の運動不足がたたって、驚いた足をからませて転ぶこと数を知らず。

もつと、手頃な所で写真を撮るろうかとふと弱気な心がよぎりました。男の子が一度決めたこと、後を振り向かず、前へ前へと自分に言い聞かせながら。

約一時間後、山頂を征服。一望に見渡す景色は絶景の一言。見事な景色と裏腹に、自分の姿といえ、泥だらけ、草だらけそして汗だらけ。

思いどおりの写真を取ろうと思えば、努力と忍耐とそして体力でしようか。

表紙の写真が汗と泥だらけの結晶です。

発行・江府町役場

〒689144 鳥取県日野郡江府町大字江尾475  
0859(75)2211 FAX0859(75)2389

編集・総務課  
印刷・富士印刷